

(様式⑦) 小学校・中学校)			確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ			学校力向上プラン【学校評価計画書】			堺市立八田荘小学校 校長 松山 紀美代			
中学校区における子ども像												
「確かな学び」「豊かな心」「健やかな体」を育みながら自他ともに尊重し、自ら考え、行動できる子ども												
令和5年度 重点目標												
1.思考力・判断力・表現力を育む授業づくり 2.自分も他者も大切にする心の教育 3.心身ともに健康な子どもの育成												
「確かな学び」の現状 ・全学級で 100 ます計算に取り組んできたことで計算力は向上しつつあるが、授業で活かしていくためにもさらに計算力を高める必要がある。 ・自分の意見を他者に伝える力は、身についてきたといえるが、それを「受け取る力」や「深める力」はまだ課題があるといえる。 ・国語の授業を中心に、他教科や作文指導を通して自分の考えを表現する力が定着しつつある。				「豊かな心」の現状 ・あいさつを返せる児童は増えたが、自分からあいさつできる児童は少ない。 ・きまりを守れる児童が増加している。 ・下校中や放課後、オンラインで人に迷惑をかけてしまうことが課題である。 ・自分に自信をもち、自分を大切に思うことに課題がある。 ・相手のことを考えて、よりよい行動をとれる児童が増加している。				「健やかな体」の現状 ・外で遊んだり、体を動かしたりすることが好きな児童が多い。 ・スポーツテストでは、男女とも堺市平均を上回る項目が増えてきている。しかし、持久力に関しては課題が見られる。 ・姿勢に気を付けて生活している児童が少ない。 ・正しい睡眠時間に関しては依然課題がみられる。				
大項目	中項目	具体目標	具体的な取組	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～7月)	達成状況 (年度末)				
								自己評価		学校関係者評価		
確かな学び	学力向上	・授業で困らない基本的な計算力や漢字の書き取り力を身に着ける。(基礎学力の定着と向上) ・自分の思いや考えを表現する。また、相手の思いや考えを聴くことができる。(思考・判断・表現) ・GIGA スクール構想に基づき、ICT を効果的に活用する	・一日のどこかで5分間の百マス計算を行う。(習熟度にあわせて自分で筆算を書く形式などに移行していく。) ・毎月本校独自の漢字チャレンジに取り組む。 ・週1回程度の作文指導を実施する。 ・年間を通じて「思考力・判断力・表現力の育成～対話的な学びを通し、能力を働かせる授業展開の工夫～」をテーマに教職員で研究する。 ・堺版授業スタンダード(問題解決型学習)を各教科で実施する。 ・高学年:調べ学習やプレゼンソフトを活用して自分の考えを表現する。 低学年:児童用PCを活用し、学習のふりかえりに取り組む	・百マス計算(2 学期) 1・2年生…正答率9割達成を80%以上 3～6年生…5分以内達成80%以上 ・本校の計算テスト3～6 年生(2 学期末実施)…正答率80%以上 ・漢字チャレンジ2～6年生(2 学期末集計)……正答率80%以上 ・研修部会からの研究テーマに関する児童アンケート結果の向上 ・児童用学校教育アンケート「思ったことや考えたことを文章にできる」「予想や考え方などをノートに書くことができる」…肯定的回答75%以上 ・高「児童用PCを使用して自分が調べたい情報を調べられますか？」低「ドリルパークに取り組んで習ったことの復習ができていますか？」…肯定的回答75%以上	・100マス計算評価(学期末) ・計算テスト(2回平均) ・漢字チャレンジ(2学期末) ・学校教育アンケート	3学期	○	・1年生を除く全学年で百ます計算を実施することができた。(1年生は2学期より実施予定。)昨年度から全校をあげて取り組んでいることもあり、多くの学年で早い段階で80%を達成し、習熟問題に移行することができた。2学期からは桁数を多くしたり、問題数を増やしたりしてより基礎学力の向上をめざす。 ・漢字チャレンジでは4年生以外のすべての学年で正答率80%以上を達成している。(4年生は78%) ・学期ごとに学年での指導目標を設定し、作文指導に取り組むことができた。また、1学期の終わりに教員間でのふりかえりを行い、2学期の指導目標を設定した。 ・1学期は6年生での研究授業や研修全体会を実施し、教職員研修に取り組むことができた。 ・児童用学校アンケートは2学期に実施予定。	○	・2学期から全学年で100ます計算を実施した。2学期より桁数や問題数を増やしたこともあり全学年での目標達成はできなかったが、中・高学年では昨年度からの積み重ねもあり、多くの学年で目標が達成できた。 達成【3年…かけ算・わり算、4年…たし算・ひき算・かけ算・わり算、5年…たし算・ひき算・かけ算・ひき算、6年生…たし算・ひき算・かけ算・わり算、6年生…たし算・ひき算、3年生…たし算・ひき算、6年生…わり算】 ・計算テスト…達成【3年 80.38%・6年 81.44%】未達成【4年 55%・5年 70%】 ・漢字チャレンジ…達成【3年 78.3%・5年 89.1%・6年 88.7%】未達成【2年 78.3%・4年 79.3%】 ・研修部会からの話す聞くアンケート…多くのクラスで肯定的回答が増加した。 ・児童用学校教育アンケート…達成 「思ったことや考えたことを文章にできる」「予想や考え方などをノートに書くことができる」…87.9% 高学年「児童用PCを使用して自分が調べたい情報を調べられますか？」…91.7% 低学年「ドリルパークに取り組んで習ったことの復習ができていますか？」…86.3%	○	・基礎学力の向上に継続して取り組んでいることは評価できる。 ・ICT 機器を効果的な場面で使用して、活用できている。 ・自分の思いや考えを表現することができる子どもが多いことは評価できる。今後も根拠をもち、思いや考えが表現できる児童の育成を期待する。 ・目標を達成できていない学年もあるので、向上を図っていただきたい。
		・自分のよいところを見つけ、自尊感情がもてる。「自分で考えて課題解決ができた。」「自分はやればできる。」と、子どもが実感できる。 ・異学年の交流や学校行事を通じて、一人ひとりが自分と他者に積極的につながり、集団としてなかよく活動できる。	・自分のことを知る取り組み(1学期) ありのままの自分を認め、受け入れる。(早期に心のアンケートを取り、学年末との変容を見る) ・なかまとつながる取り組み(2学期) 学校をあげて友だちとつながる取り組みを行う。(学校掲示板を活用) ・なかまづくり研修を行い、「目指す子ども像」を明確にして先生の集団づくりへの意識を高め、実践を交流する。 ・なかまづくりの取り組みから、児童が自分を意識して行動したかを実感するため、学期末ごとに心のアンケートをとる。	・学校教育アンケートで学校全体の児童の意識が「自分には、よいところがあると思いますか」の項目で肯定的回答80%以上を得ることができる。	・学校教育アンケート	3学期	○	・1学期はじめに実施した心の成長アンケートでは、「自分にはよいところがある」という自尊感情に関係する項目で 80.4%、1学期末には83.4%の肯定的な回答を得ており、1学期を通して値にも伸びが見られた。また、アンケートの記述欄には自分の苦しいことを素直に書いていた児童も多く、よいことも苦しいことも「自分」に向き合う姿勢が見られた。引き続き、伸びたことや克服できたことを学級集団の中心に取り上げ、各自の自信につなげていきたい。	○	・「なかまづくり研修」では、学級で取り組めるなかまづくり活動の研修に取り組んだり、各学年の実践を交流したりして、先生の集団づくりへの意識を高めた。 ・なかまづくりの取り組み「みんなの すてきを そだてよう」では、学校全体で自他ともによさを認め合える活動として取り組み、自尊感情を高めることができた。 ・学校教育アンケートの肯定的回答…83.9% 心の成長アンケートの肯定的回答…81.4% 学年があがると、肯定的回答が減少しているので、今後も継続的に自尊感情を高める取り組みを行う。	○	・見えにくい部分である関係づくりを良好にするための取り組みをおこない、自尊感情を高めたことは評価できる。今後も、子どもたちが良好な関係を作れるように後押ししていただきたい。

	規範意識の向上	・自分から進んで、いい声であいさつができる。 ・全員がろうかを歩くことができる。 ・トイレのスリッパをそろえることができる。 ・先生がいなくても学校のきまりを守って、過ごすことができる。	・ハテナボーイの朝の会での毎日チェック ・朝礼での生指からの講話 → 担任からの講話 ・学校外での遊び方の指導を下校時間が早い日に全クラスで行う (統一した指導のために、指針を示す) ・週1回の月目標のチェックと月1回の振り返りを丁寧に行う ・委員会活動と連携した取り組み (特に、あいさつ、廊下歩行、スリッパ) ・中間アンケートを活用して、後期目標の設定 ・職員への啓発と職員が見本となる姿を見せる	学校教育アンケート		3学期	○	・生活目標(年間・学期・月別)目標は、朝礼での講話や代表委員会のミッションなどもあり、児童一人ひとりが意識して取り組めている。 ・あいさつをいい声でできている。 ・休み時間の過ごし方や掃除の取り組み、学習規律など全体的によくなっている。 ・行き渋りの児童は多いが、初期対応を丁寧に行えている。 ・課題…廊下歩行やトイレのスリッパをそろえる。学校外のトラブルが依然多い。(公園での遊び方や登下校のマナーなど)ラインやチャット、SNSでのトラブルも多い。(中学年にまで下りてきている) ・いじめ対策委員会と会議での情報共有は実施できている。	学校教育アンケートの結果(肯定的回答の%) ・学校のきまりを守っている(児童)⇒88.8% ・あいさつをよくしている(児童)⇒90.4% ・そうじを一生懸命している(児童)⇒93.9% ・先生は間違った行動を指導してくれる(保護者)⇒87.2% ・校内でのトラブルやルールを破る児童への指導の回数は少なくなった。しかし、放課後の公園でのトラブルやラインやチャットなどでのトラブルは依然多い ・学習規律、休み時間の過ごし方、時間を守る、掃除の取り組み方、移動教室の仕方などもよくなった。 ・いじめの積極的認知と全体での共有を行い、早期発見、早期解決に努めることができた。(アンケート以外でも積極的に認知できた) ・朝礼や担任からの講話、各委員会の活動により、各月の生活目標を意識して生活することができた。 ・自分からあいさつをする、廊下歩行、トイレのスリッパをそろえるは、まだ課題が見られる。 ・教職員全員で統一した指導、成果を認める言葉かけができた。	○	・子どもたちの規範意識を高める取り組みを継続的に行うことで、成果が表れている。校内で、スリッパが整然と並んでいたり、掃除を一生懸命に取り組んでいたりする姿が見られた。今後も引き続き、指導や取り組みをおこなっていただくことを期待している。
健やかな体	体力向上	・「体を動かすことが楽しい」「体育の授業が好きだ」という児童を増やす。 ・休み時間に外で遊ぶことが大切だと考える児童を増やす。 ・スポーツテストの記録において、平均記録を伸ばす。(特に持久力を伸ばしたい) ・体力向上の取り組みに参加しようとする児童を増やす。	・体育委員会と連携して、休み時間にリズムなわとびを行い、持久力や瞬発力を向上させる。 ・体育授業を円滑に行うために、年間計画を見直し、同種目を同じ時期に設定することで、準備時間の短縮につなげ、児童の活動時間を長く確保できるようにする。 ・体育の授業での目標を自己の成長や友達の成長などに向け、各自が課題をもてるようにして、工夫をする楽しさや達成感を味わうことで、体育が好きな児童を増やす。 ・体育の授業のはじめに柔軟運動を取り入れ、柔軟性の強化に取り組む。 ・スポーツテストの実施種目を、低・中学年も増やす。	・スポーツテストの結果を昨年度と比較し、結果が向上しているかどうか。 ・学校教育アンケートの「外で元気に遊んだり、体育の授業で体を動かしたりすることが好きだ」の項目で肯定的評価が85%以上。	・スポーツテスト ・学校教育アンケート	3学期	○	・体育委員会の児童を中心に、6月のスポーツテストの前に「シャトルラン」「ソフトボール投げ」「反復横跳び」の練習を行い、一定数の児童の参加があった。 ・1学期の体育の授業は、体育参観や水泳学習がメインとなった。各学年とも、前向きに体育の学習に取り組む様子が見られた。 ・休み時間の外遊びをする児童は暑くなるにつれて少なくなっていく。2学期には、体育委員会で記録会のようなものをする予定なので、それをきっかけにして少しでも外に出る児童が増えればと思う。	体育委員が行う「リズム縄跳び」「八田荘チャレンジ」などにも参加する児童が多くなる。来年度も取り組みを継続、さらに多くの児童が参加できるようにしていきたい。 ・スポーツテスト 「反復横跳び」「立ち幅跳び」…ほぼすべての学年で堺市平均を上回る 「握力」「シャトルラン」…課題あり その他の項目…学年によってばらつきあり ・学校教育アンケート 「外で元気に遊んだり、体育の授業で体を動かしたりすることが好きだ」の項目で肯定的評価…86.7% ・けんかつアンケート 「運動することは好きですか」…80.9% 「体育の授業は好きですか」…83.6%(前年より向上)	○	・様々な取り組みをおこない、運動することが好きな子どもが多いことが評価できる。休み時間も運動場に多くの児童がでており、外遊びを好んでいることがうかがえる。また、体育の授業が好きな子どもが多いのは、授業の中でできることが増えたり自信がついたりするなどよい授業づくりをおこなっているということがうかがえる。
	健康の維持・増進	・日々の姿勢に意識を向けて生活のできる児童 ・早寝を意識することのできる児童 ・1日3度の栄養バランスのとれた食事が大切だと思う児童	・健康生活目標の周知(睡眠・姿勢については毎回触れる) 朝礼で保健給からの講話→担任からの講話 ・けんかつ(健康生活)アンケートを年1回(11月)実施して、実態を把握する ・発達段階に応じた目標睡眠時間の周知・指導を継続的に実施する ・「心身の健康」に関する食に関する指導を継続的に実施する	・学校教育アンケートの「早寝早起き朝ごはん…」の項目で肯定的評価 児童用75%保護者用90%以上 ・けんかつアンケートで肯定的評価睡眠(学校があった日…寝…) 70%以上 姿勢 60%以上 好き嫌いせず… 92%以上	・学校教育アンケート ・けんかつアンケート	3学期	○	・健康生活目標(睡眠・姿勢については毎回)の周知を継続中。(朝礼) ・けんかつアンケート未実施(11月実施予定)。 ・発達段階に応じた目標睡眠時間の周知を継続中。(ほけんだよりなど) ・4年生に「心身の健康」に関する食育を実施。ほかの学年は2学期以降に実施予定。 ・食に対する意識向上を目指し、給食相撲を実施。2学期も実施予定。	学校教育アンケートより(肯定的回答の%) ・早寝早起き朝ごはんを大切にしている…(児童86%、保護者95.7%)○、朝食96.9%○ けんかつアンケートの結果より ・学校があった日はいつも何時までに寝る…71.9%○ ・姿勢に気を付けて生活している… 58.5%△ ・好き嫌いせずバランスよく食べることは大切だと思う… 91.9%△ ○ ・毎月のけんかつ目標指導による大きな効果はけんかつアンケートからは見られないが、年間を通した継続的な指導は必要。 ・発育測定時に全学年に姿勢の指導を実施したが、すぐには効果が見られなかったため、今後も学校全体として姿勢に意識が向くような継続的な指導が必要。 ・全学年において、「心身の健康」に関する食に関する指導を実施した。	○	・給食時間中に、栄養教諭が各学級をまわり、食材についてなど指導をおこなうことや食に関する指導をおこなうことで食に対する意識が高い。残食量がすくないということもその成果であるとうかがえる。 ○ ・姿勢については、今後も改善するための取り組みを継続して実施することを期待する。
校長より (年度末)								学校関係者評価者から (年度末)			
教職員がチーム八田荘として、前年度からの課題を引き継いだ上で今年度の重点目標に向けて取り組んできた種々の教育活動の成果が表れてきていることを実感している。中でも自尊感情の高まりには喜びを感じている。今後も自尊感情の高まりにつながる教育活動、基礎基本の着実な定着を図る教育活動、自らの考えを表現し伝える力の育成を図る教育活動など、ICT活用を効果的に取り入れながら継続していきたい。また、課題である子どもたちの読書に対する意識やよい姿勢への意識に関しては、家庭への啓発も含めて今後も年間を通じた指導や働きかけを行っていく必要があると捉えている。								今年度の目標を概ね達成しており、学校の取り組みの成果があらわれているといえる。特に、子ども同士の関係づくりを後押しする取り組みや食に関する指導をおこなうなどの取り組みが成果としてあらわれている。しかし、まだ課題も残されており、学校はさまざまな取り組みを継続し、より一層深めるとともに家庭、地域と連携し、子どもの健全な育成に努めてもらいたい。			